

第 16 回ソバ研究会開催要領

ソバ多収化への道

国産そばの需要は確固たるものがあり、今後もその増加が見込まれているが、生産量はなかなか伸びていないのが現状である。その大きな要因として、ソバの単収の低さが挙げられる。近年、ソバではいくつもの新品種が育成されてきているものの、果たしてその潜在的な収量性は増加してきているのだろうか。多収化を困難にしている要因は何なのだろうか。品種改良や栽培法の改善によりソバの多収化は図れるのであろうか。第 16 回ソバ研究会ではソバの収量性について、他作物の多収性育種戦略の方向性および栽培技術の開発との関連と対比させながら、果たしてソバの多収化が可能であるかどうか、それはどのような手法でアプローチできるのか、新しい育種戦略を含めて検討を行う。

1. 日時 2016 年 2 月 6 日（土） 13:00～17:00
2. 場所 筑波大学医学地区健康医科学イノベーション棟 8 階大講義室（新しい会場です）
3. 内容
 - 話題提供
 - ソバの収量性
筑波大学生命環境系 林 久喜 氏
 - 日本の多収イネ品種の育成
農業生物資源研究所放射線育種場 加藤 浩 氏
 - ダイズの低収要因の解明と多収化への挑戦
農研機構作物研究所 羽鹿牧太 氏
 - ソバ多収性品種育成に向けての試み
筑波大学生命環境系 大澤 良 氏
 - 討議
4. 参加費 無料
5. 参加定員 150 名
 - 〔 申込み順に参加受付を行います。 〕
 - 〔 定員に達しましたらご参加いただけませんのでご了承ください。 〕
6. 参加要領

本研究会は研究者、行政担当者、普及担当者、実需者、生産者など幅広い方々の参加を歓迎いたします。本研究会に参加を希望される方は、メール、Fax で氏名、勤務先、所属、役職、郵便番号、住所および電話番号、メールアドレス並びに懇親会（筑波大学医学専門学群食堂、3,000 円）参加の有無を 1 月 29 日（金）までに下記へ電子メールで連絡してください。なお、会場の都合上、定員がございますので、ご留意下さい。

当日はパンフレット、製品、産物などの展示を受けつけます。希望者は事務局まで参加登録時に展示内容について連絡して下さい。また、懇親会は持ち込みも可能です。産地の名産品などの飲み物や食べ物の持ち込みを歓迎します。
7. 申込先 筑波大学農林技術センター 地域交流普及班
E-mail: soba@nourin.tsukuba.ac.jp
8. 主催 筑波大学農林技術センター
9. 共催 筑波大学フードセキュリティーリサーチユニット

会場への道筋

- ・車で起こしの場合 P54 駐車場に駐車してください。
- ・Tx でお越しの場合 Tx 最終駅、つくば駅で下車、A3 出口から地上に出て、6 番バス乗り場で筑波大学循環バス（右回り）、あるいは筑波大学中央行きバスに乗車し、追越学生宿舎東下車(5 分程度)。徒歩 2 分です。徒歩では、つくばセンターから会場までは 2km 弱、20 分程度です。
<http://www.bus-ibaraki.jp/jikoku-shitetsu/tsukuba-c1.html> 参照



会場：健康医科学イノベーション棟

大学病院と懇親会場（バス停、大学病院前より）

バス時刻表

つくばセンター	→	追越学生宿舎東
12:20 (筑波大学循環右回り)		12:24
12:23 (筑波大学中央行き)		12:27
12:43 (筑波大学中央行き)		12:47
13:00 (筑波大学循環右回り)		13:04

筑波大学病院入り口 → つくばセンター

18:56	→	19:00
19:25	→	19:29

筑波大学病院入り口 → 東京駅

18:49	→	20 時頃
19:19	→	20 時 30 分頃